

令和4年度学校自己評価システムシート (県立所沢高等学校)

目指す学校像	多様な生徒一人一人に相応し、社会的自立を促す親身あふれる温かい教育
--------	-----------------------------------

重点目標	1 授業を大切にし、学習意欲を向上させ、基礎学力を定着させる 2 家庭や地域との連携を強め、教育活動を一層充実させる 3 学校行事等の多様な学びの機会を通じて、社会人として自立できる力を育成する
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>現状 生徒アンケートより、約9割の生徒が落ち着いた雰囲気で行われているが、意欲的に学習に取り組む生徒は約5割、日常的に家庭学習を行う生徒は3割程度である。</p> <p>課題 学習に対する目標を持たせ、達成感を味わわせてさらに学習意欲を向上させることが求められる。</p>	主体的に学ぶ生徒の育成	<p>①生徒一人一人の学力や理解度を把握し、個々に適切な目標を持たせるとともに、その達成に向けてきめ細かな指導を実施する。</p> <p>②教材の工夫によって生徒の興味・関心を高め、家庭学習を含めて見通しを持った学習に取り組ませる。</p> <p>③多文化共生推進員や学習サポーターなど外部人材を活用する。</p>	<p>①②生徒の授業満足度</p> <p>①②主体的に授業に取り組む生徒の割合</p> <p>①②日常的に家庭学習を行う生徒の割合</p> <p>①②各学期の欠点保有者数</p> <p>③外部人材の活用状況</p>			
2	<p>現状 約9割の生徒や保護者が本校に入学して良かったとアンケート回答している。ただ、そのような現状や定時制の魅力を十分に中学校や地域に発信できていない。</p> <p>課題 学校の情報を発信しつつ、保護者や地域と連携した教育活動の展開が求められる。</p>	中学校や地域への情報発信と保護者や地域と連携した教育活動の推進	<p>①HPは写真だけでなく、生徒の生の声も掲載し、生徒の活動の様子が伝わりやすいものとする。</p> <p>②学校案内は生徒・保護者アンケートの結果から、生徒や保護者の満足度が高いことを発信するものとする。</p> <p>③地域の協力を得て、日本語を母語としない生徒への支援を実施する。</p>	<p>①保護者の学校理解度と満足度</p> <p>①HPの閲覧者数</p> <p>②学校説明の来校中学生数</p> <p>③地域人材の活用状況</p>			
3	<p>現状 8割以上の生徒が社会規範を遵守して生活している。しかし、自分に自信がなく、卒業後の夢や目標が明確に定まっていない生徒が半数程度いる。</p> <p>課題 教育活動のあらゆる場面でキャリア教育を推進するとともに、達成感を味わわせ、自己肯定感を高めたいことが求められる。</p>	自己肯定感の高揚と生きる力の育成	<p>①全教職員で生徒情報を共有することによって生徒理解を深め、個々の生徒に応じた生徒指導を行う。</p> <p>②スクールカウンセラーと連携した相談活動によって、目的意識を持って学校生活を送れるよう支援していく。</p> <p>③4年間の見通しを持った進路指導で、卒業後の目標を持たせる。</p>	<p>①②自分に満足している生徒の割合</p> <p>①③卒業後の目標を持っている生徒の割合</p> <p>②スクールカウンセラーの活用状況</p> <p>③卒業生の進路決定状況</p>			

学 校 関 係 者 評 価			
実施日	令和	年	月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等			

